

私立学校特別研修会 外国語（英語）教育改革特別部会 【東日本エリア】 実施案内

主催 一般財団法人私学研修福祉会 協力 一般財団法人日本私学教育研究所
後援 日本私立中学高等学校連合会

小学校・中学校・高等学校等を通じた英語教育改革を進める文部科学省では、平成26年度より英語教員の英語力・指導力強化を図る観点から、英語指導力向上事業「英語教育推進リーダー中央研修」を外部専門機関に委託し実施しています。

同研修は、全国の国・公・私立学校の英語教員を対象にしているものの、公立学校を中心とした研修の仕組みになっていることから、私学関係者の要望に応じて、文部科学省は平成27年度より私立学校教員が参加しやすいよう受入体制を整備し、私立学校教員も参加できるようになりました。

しかし同時に、次期学習指導要領や大学入学者選抜改革を含めて国が進める英語教育改革に係る最新の情報が、私立学校には十分に伝わっていない実情もあり、私立学校教員は公立学校教員に比べ情報量が少ない故に埒外に置かれた感はありません。

ついで、私立学校においても、外国語(英語)教員の外国語(英語)力・指導力強化を図るためには、教員が21世紀型教育に相応しい最新の教授法と情報を早急に取り入れる必要があることから、平成27年度より専門家の指導による特別研修会「外国語(英語)教育改革特別部会」を、全国5つのエリアで実施いたします。

当部会【東日本エリア】では、初日は市内の会場において、文部科学省の委託を受け、「英語教育推進リーダー中央研修」を企画、運営しているブリティッシュ・カウンシルのトレーナーを講師に迎え、今年度中央研修に参加した私学教員が、最も参考になった内容を取り上げてワークショップを行い、新たな外国語(英語)指導法を体験します。翌日は教育課程特例の研究開発学校として4・3・2制で発達段階に応じた外国語(英語)教育等を先進的に実践する「聖ウルスラ学院英智」を会場に、小・中学校、高等学校の英語の授業(小・中学校は「公開研究会」授業)視察、文部科学省の講演等(公開研究会)、参加者らによる意見交換会でネットワークづくりを進める等多多彩なプログラムを用意します。

◆ 会 期 ◆ 平成27年12月4日(金)～5日(土)

◆ 会 場 ◆ [仙台ガーデンパレス](#) (4日) 仙台市宮城野区榴岡4-1-5 (JR仙台駅東口より徒歩3分)
[聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校](#) (5日) 仙台市若林区一本杉町1-2
(仙台駅西口バスプール市営バス6番のりば「若林区役所前」下車すぐ)

◆ 募集人員 ◆ 40名

◆ 参加費 ◆ 19,000円〔2日目の昼食費を含みます。宿泊費は含みません。〕
*宿泊の斡旋は致しませんので、手配は各自でお願いします

◆ 参加対象 ◆ 私立中学校・高等学校・中等教育学校の英語科教諭(ワークショップは英語で行われます)

◆ プログラム ◆

①ワークショップ

文部科学省の委託を受け、「英語教育推進リーダー中央研修」を企画、運営しているブリティッシュ・カウンシルのトレーナーを講師に迎え、平成27年度中央研修を受講した私学教員が、最も関心を持ち、有益と感じた2つのトピックについて学びます。

テーマ ● 実際のコミュニケーション場面で活用できる文法の指導法

● 発音を重視したリスニング向上のための指導法

講 師 トム・レドブリー ブリティッシュ・カウンシル トレーナー(教員研修)

③オープニングセレモニー〈公開研究会〉 ④研究授業(高等学校)(小・中学校〈公開研究会〉) 視察

⑥講演〈公開研究会〉「研究主題：課題解決に向けて主体的・協働的に学ぶ力の育成 一言語活動の充実を図る」

聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校における英語の研究授業を視察し、文部科学省初等中等教育局視学官による講演で最新の情報を知り、先進校の取組みを体験します。

演 題 「学習指導要領改訂の方向性 ―アクティブ・ラーニングと授業改善―

講 師 田村 学 文部科学省初等中等教育局視学官

②情報交換会 ⑤分科会(高校授業実践者との意見交換会) 情報・意見交換を通して課題を探索し、交流を図ります。

◆ 日程概要【予定】◆

時刻	08		09		10		11		12		13		14		15		16		17		
	00		00		30		30		00 20 30		50 10		50		50		00 10 20		00		
12月4日(金) 仙台 ガーデンパレス									受付	開 会 式	①ワークショップ								②情報 交換会		
12月5日(土) 聖ウルスラ学院 英智小・中学校、 高等学校	特別 部会	1号館 (高等学校)				④研究授業(高等学校) 【5F 221・222／111教室】				昼食 【5F】	⑤分科会 (高校授業実践者と の意見交換会) 【5F】						閉 会 式				
						(1)		(2)・(3)													
	3号館 (小・中 学校)	受付 【1Fエント ランスホール】	③オープニング セレモニー 【3号館講堂】 〈公開研究会〉				④研究授業(小・中学校) 【各教室】〈公開研究会〉				〈公開研究会〉				⑥講演 【3号館講堂】 〈公開研究会〉						
			授業1		授業2																

＜英智公開研究会プログラム＞について … 当部会参加者は、午前は「オープニングセレモニー」に出席後、「小・中学校の研究授業」(英語：F4,S7-Bgrade)を視察できます。午後は講演を聴講します。＜公開研究会＞には一般の方や学生らが参加します。

◆ 学校紹介 ◆

聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校

理事長 梶田 叡一 校長 伊藤 宣子

聖ウルスラ学院英智高等学校は、世界最初的女子教育修道会、聖ウルスラ修道会が設立した学校で、「キリスト教的人間観に基づく人格の形成」を教育目的に、「力のつく元気な学校」を目指しています。現在仙台市若林区の木ノ下キャンパスに幼稚園、同一本杉キャンパスに9年制の小・中学校と併設型の高等学校があります。小・中学校は文部科学省の教育課程特例校制度における研究開発学校として独自の教育課程（4・3・2 制）を実施しており、文部科学省より「言語技術」研究開発学校（2007～2009）、またユネスコスクールに指定されている小・中一貫校です。高等学校は普通科3コースがあり、一人一人がそれぞれのコース特徴を生かしながら、「志」を持ち、積極的に社会に関わりながら自分の可能性を発揮すべく活動しております。2005年より校名に「英智」を加え、男女共学となった現在の高等学校の生徒数は、男子200名、女子615名（+留学2名）の計815名です。

平成26年度よりウルスラ独自のSGH構想を立ち上げ、「環太平洋地域におけるリーダー的な役割を担う人材の育成」を目指し、新規の海外プログラムも立ち上げながら今後教育課程との連動のもと、更なる飛躍を目指します。

◆ 講師・発表者・指導員（順不同） ◆

トム・レドブリー ブリティッシュ・カウンスルトレーナー（教員研修）
中 川 武 夫 一般財団法人日本私学教育研究所所長

◆ 特別委員・指導員（順不同） ◆

後 藤 健 一	聖ウルスラ学院英智中学校・高等学校教諭
金 丸 紋 子	カリタス女子中学校・高等学校教諭
田 中 歩	工学院大学附属中学校・高等学校教諭
船 橋 巖	上智福岡中学校・高等学校教頭
川 本 芳 久	一般財団法人日本私学教育研究所事務局長代行
山 崎 吉 朗	一般財団法人日本私学教育研究所主任研究員

◆ 日 程 表【予定】◆

12月4日(金)

〔会場 仙台ガーデンパレス 4階 羽衣〕

12:00	
12:30	受 付
	◇ 開会式 〔4階 羽衣〕 司会 川本芳久 (一財)日本私学教育研究所 事務局長代行 1. 開会の辞 2. 主催者挨拶 (一財)日本私学教育研究所 所長 中川 武夫 3. 日程説明 (一財)日本私学教育研究所 主任研究員 山崎 吉朗 聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校 主幹教諭 後藤 健一 4. 閉会の辞
12:50	◇ ワークショップ *ワークショップは英語で行われます。 〔4階 羽衣〕 司会及び講師紹介 田中 歩 外国語(英語)教育改革特別委員 文部科学省の委託を受け、「英語教育推進リーダー中央研修」を企画、運営しているブリティッシュ・カウンシルのトレーナーを講師に迎え、平成27年度中央研修を受講した私学教員が、最も関心を持ち、有益と感じた2つのトピックについて学びます。 テーマ ● 実際のコミュニケーション場面で活用できる文法の指導法 ● 発音を重視したリスニング向上のための指導法 講 師 トム・レッドブリー ブリティッシュ・カウンシル トレーナー(教員研修)
16:00	◇ 情報交換会 〔4階 羽衣〕 司会 山崎吉朗 (一財)日本私学教育研究所主任研究員 ファシリテーター 後藤健一、金丸紋子、田中 歩、船橋 巖 外国語(英語)教育改革特別委員 外国語(英語)教育改革への取り組み・実践等について情報・意見を共有し課題を探索します。ネットワークづくりに。
17:00	

12月5日(土)

〔会場 聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校〕

08:00							
09:00	受 付 〔3号館【小・中学校】1階 エントランスホール〕						
	◇ オープニングセレモニー <英智公開研究会> 〔3号館【小・中学校】講堂〕 1. 和太鼓クラブ 2. 雀踊り 3. 校長挨拶 聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校 校長 伊藤 宣子 4. 児童・生徒によるポスターセッション・プレゼンテーション						
10:30	◇ 研究授業 <table border="1" style="width:100%"> <tr> <td style="width:50%"> 【高等学校】 〔1号館〕 1 時間目 (1) コミュニケーション英語Ⅰ 〔5階 221・222 教室〕 「グループワークを通じたエッセイライティング」 特別志学コース Type1 1年2組 授業者 鈴木 淳 教諭 </td><td style="width:50%"> 【小・中学校】〈公開研究会〉 〔3号館〕 1 時間目 「授業1」 〔2階 F4 教室〕 英語：F4年(小4) 授業者 菅野 智子 教諭 </td></tr> <tr> <td> 2 時間目 (2) コミュニケーション英語Ⅰ 〔5階 221・222 教室〕 「発信力を高める異文化理解」 特別志学コース Type2 1年1組 授業者 高野 翔太 教諭 </td><td> 2 時間目 「授業2」 〔3階 S7B 教室〕 英語：S7年(中1) B-grade 授業者 小関 晴彦 教諭 </td></tr> <tr> <td> (3) コミュニケーション英語Ⅱ 〔5階 111 教室〕 「ICT使用の学びとその可能性～生徒の学びのモチベーション向上のために～」 尚志コース 2年3組 授業者 石井 桃子 教諭 </td><td></td></tr> </table>	【高等学校】 〔1号館〕 1 時間目 (1) コミュニケーション英語Ⅰ 〔5階 221・222 教室〕 「グループワークを通じたエッセイライティング」 特別志学コース Type1 1年2組 授業者 鈴木 淳 教諭	【小・中学校】〈公開研究会〉 〔3号館〕 1 時間目 「授業1」 〔2階 F4 教室〕 英語：F4年(小4) 授業者 菅野 智子 教諭	2 時間目 (2) コミュニケーション英語Ⅰ 〔5階 221・222 教室〕 「発信力を高める異文化理解」 特別志学コース Type2 1年1組 授業者 高野 翔太 教諭	2 時間目 「授業2」 〔3階 S7B 教室〕 英語：S7年(中1) B-grade 授業者 小関 晴彦 教諭	(3) コミュニケーション英語Ⅱ 〔5階 111 教室〕 「ICT使用の学びとその可能性～生徒の学びのモチベーション向上のために～」 尚志コース 2年3組 授業者 石井 桃子 教諭	
【高等学校】 〔1号館〕 1 時間目 (1) コミュニケーション英語Ⅰ 〔5階 221・222 教室〕 「グループワークを通じたエッセイライティング」 特別志学コース Type1 1年2組 授業者 鈴木 淳 教諭	【小・中学校】〈公開研究会〉 〔3号館〕 1 時間目 「授業1」 〔2階 F4 教室〕 英語：F4年(小4) 授業者 菅野 智子 教諭						
2 時間目 (2) コミュニケーション英語Ⅰ 〔5階 221・222 教室〕 「発信力を高める異文化理解」 特別志学コース Type2 1年1組 授業者 高野 翔太 教諭	2 時間目 「授業2」 〔3階 S7B 教室〕 英語：S7年(中1) B-grade 授業者 小関 晴彦 教諭						
(3) コミュニケーション英語Ⅱ 〔5階 111 教室〕 「ICT使用の学びとその可能性～生徒の学びのモチベーション向上のために～」 尚志コース 2年3組 授業者 石井 桃子 教諭							
12:20	◇ 昼食 〔1号館【高等学校】5階 111 教室〕						
13:10	◇ 分科会(高等学校授業者との質疑・意見交換) 〔1号館【高等学校】5階 221・222 教室〕 司会 船橋 巖 外国語(英語)教育改革特別委員 研究授業を受けての質疑応答の後、グループに分かれて意見交換を行います。 ファシリテーター 金丸紋子、田中 歩、船橋 巖 外国語(英語)教育改革特別委員、山崎吉朗主任研究員 指導助言 聖ウルスラ学院英智中学校・高等学校 主幹教諭 後藤健一、聖ウルスラ学院英智高等学校 授業者 (予定) 13:10～ 質疑応答(研究授業等) 13:40～ 意見交換(分科会) 〔1号館 5階 112、121、122、131 教室〕						
14:50	◇ 講演〈公開研究会〉 〔3号館【小・中学校】講堂〕 演 題 「学習指導要領改訂の方向性ーアクティブ・ラーニングと授業改善ー」 講 師 文部科学省初等中等教育局視学官 田 村 学						
16:10	◇ 閉会式 〔1号館【高等学校】1階 アンジェラホール〕 司会 川本芳久 事務局長代行 1. 開会の辞 2. 総括 (一財)日本私学教育研究所 主任研究員 山崎吉朗 3. 閉会の辞						
16:20	解 散						

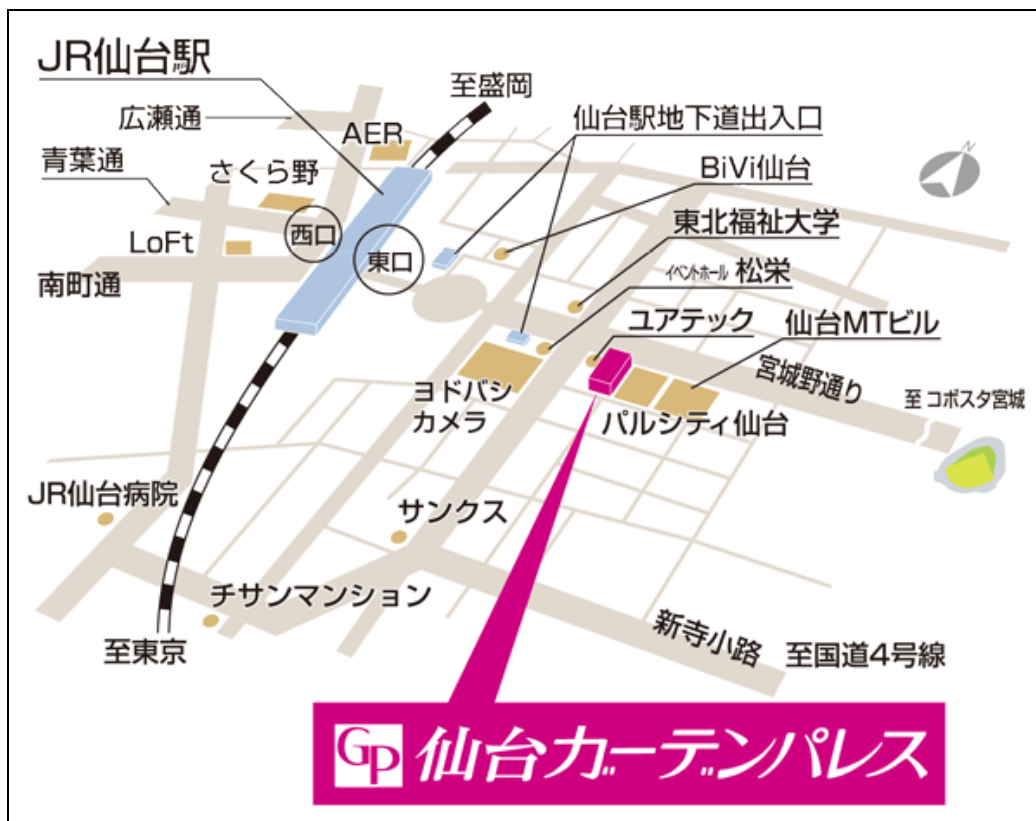
※プログラムの内容等に変更となる場合があります。 ※名刺をご持参下さい。 【照会先】(一財)日本私学教育研究所 特別研修会担当 TEL 03-3222-1621

◆ 会場案内 ◆

仙台ガーデンパレス

仙台市宮城野区榴岡 4-1-5 TEL 022-299-6211

(JR 仙台駅東口より徒歩 3 分)



聖ウルスラ学院英智小・中学校、高等学校

仙台市若林区一本杉町 1-2 TEL 022-286-3557

(仙台駅西口バスプール市営バス 6 番のりば「若林区役所前」下車すぐ)



【一本杉キャンパスへのアクセス】

バス路線

仙台駅西口バスプール市営バス 6 番のりば
(地下鉄五橋駅から乗り継ぎも可) 若林区役所前下車 すぐ

地下鉄路線

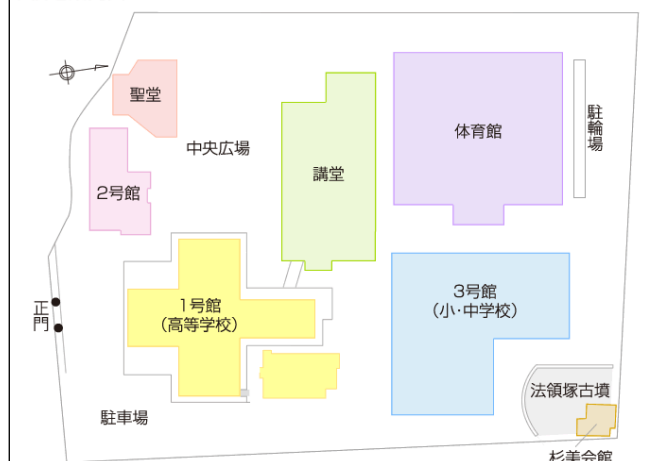
地下鉄河原町駅下車 徒歩 25 分

仙石線路線

JR 仙石線宮城野原駅下車 徒歩 25 分

自転車通学路

◆校地案内図



◆ 参加申込み方法 ◆

1. 「参加申込書」に必要事項をご記入の上、下記申込み先に FAX または郵送でお送り下さい。

① 申込み先

一般財団法人日本私学教育研究所・私立学校特別研修会担当 宛
〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-3-8 市ヶ谷 UN ビル 6 階
TEL 03-3222-1621 FAX 03-3222-1683 ホームページ <http://www.shigaku.or.jp/>

② 申込み締切日 平成27年11月20日（金）必着

2. 申込みは先着順に受け付けます。募集人員を超えた場合は期日前でも締め切らせていただくことがあります。
（申込みを締切った場合は当研究所ホームページでお知らせする予定です）。

3. 参加申込書受付後、「参加確認証」及び「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」をお送りします。

「参加確認証」は、研修会当日受付にご提示下さい。

※申込み後、2週間以内に上記の書類が届かない場合は電話にてご確認下さい。

◆ 参加申込後の注意 ◆

1. 参加費（19,000 円）は、「参加費等請求書（コンビニ払込用紙）」払込用紙で、指定されたコンビニエンスストアでお支払い下さい。なお、参加費の領収書は「払込受領書」をもって代えさせていただきます。

2. 参加申込み後のキャンセル・欠席等については、必ず FAX にてご連絡下さい（FAX 送信後、当研究所から確認の連絡がない場合は必ず電話にてご確認下さい）。参加費のご返金・キャンセル料等は下記の取扱いと致します。

11 月 27 日（金）・15 時迄のご連絡	11 月 27 日（金）・15 時以降のご連絡及び無断欠席
事務手数料 1,000 円を差引いた参加費を返金致します。	参加費はご返金できません。研修会資料等の発送をもって代えさせていただきます。参加費未払いの場合は、キャンセル料として全額（19,000 円）を申し受けます。天変地異や自然災害によるキャンセルの場合は、状況により対応しますので、ご相談下さい。

◆ 個人情報の取扱いについて ◆

当研究所では、研修会に参加される方の個人情報は厳重に管理・保護し、その取扱いについては、法令その他の規範を遵守し、細心の注意を払っております。参加申込書にご記入いただいた個人情報は、「参加確認証」及び研修会参加のために必要な書類の送付、実施要項の名簿作成、当研究所の各種研修会開催等のご案内の送付、また、何らかの理由で研修会に参加される方に連絡を要する事態が生じた場合のみに利用致します。

○ 傷害保険について

本研修期間中の参加者等の傷害保険には、加入致しませんのでご承知置き下さい。

一般財団法人日本私学教育研究所 行

【申込締切日：11月20日（金）必着】

FAX 03-3222-1683

平成27年度 全国私立中学高等学校 私立学校特別研修会
外国語（英語）教育改革特別部会【東日本エリア】参加申込書

平成27年__月__日

参加者氏名	(ふりがな)	職 名
	[男 女]	
参加者連絡先	☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。	教員勤務年数 ※
		年
メールアドレス*		受付番号(研究所記入欄)
参加者氏名	(ふりがな)	職 名
	[男 女]	
参加者連絡先	☆緊急の場合、確実に連絡が取れる携帯電話番号、自宅電話番号等をご記入下さい。	教員勤務年数 ※
		年
メールアドレス*		受付番号(研究所記入欄)

※英語教員としての通算勤務年数をご記入下さい。

※今後、当研究所からの研修会のご案内等のメール配信をご希望の方は、メールアドレス(携帯電話のメールは不可)をご記入下さい。

学校名		
	学校区分	1. 中学校 2. 高等学校 3. 中高併設校 4. 中等教育学校 A. 男子校 B. 女子校 C. 共学校（含む男女別学校）
学校住所	〒	
	TEL ()	FAX ()
※上記参加者本人または学校住所以外への送付を希望する場合は、通信欄に送付先・受取人氏名をご記入下さい。		
通信欄		

◇ FAX または郵送でお申込み下さい。